



2005.10.20

第16回IPアドレス管理指定事業者連絡会

今後予定される IPアドレス登録管理業務の変更

- 今回のAPNICミーティングの結果を受けて -

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター



今後変更が予定される事項

- IPv6アドレス割り振り手数料の変更
- ip6.intによる逆引きの廃止
- IPv6アドレス割り振り基準(HD-Ratio)の変更

別紙も必ずご参照いただきますよう
お願いいたします。



IPv6アドレス 割り振り手数料の変更



現在の状況

- 先日のAPNIC20ミーティングで、NIRが共同して「IPv6割り振り手数料(per address fee)の廃止」を提案、コンセンサスを得る
- 現在ML上での議論中だが、このまま廃止となるかどうかはなお流動的
- この動きに先立ち、APNIC ECが「IPv6割り振り手数料の90%割引」を適用することを決議
 - 割引には条件(次頁参照)があります
 - 既にNIR(JPNIC)に対しても適用されています



割引条件

<http://www.apnic.net/docs/corpdocs/member-fee-schedule.html>

(APNIC文書抜粋)

3.3.3 IPv6 address space

[...] The minimum per-address fee payable for any allocation or assignment of IPv6 address space is equal to the fee payable for a /32 allocation (7132 utilised addresses).

3.3.4 IPv6 special conditions

For NIR members, the IPv6 per address fee is discounted by 90% for allocations of IPv6 address space to existing IPv4 infrastructure.



割引条件(続き・日本語訳)

- 既存のIPv4インフラストラクチャに対してのIPv6アドレス空間割り振りが減額対象
- 最低割り振り手数料は、最小割り振りサイズに対応する割り振り手数料
 - /32の割り振り手数料＝¥29,954



当面の処置

- 今後指定事業者から受けるIPv6アドレス割り振り申請については、IPv6アドレス割り振り手数料の廃止提案の成否にかかわらず、90%の割引を適用する
 - 割引条件等、詳細は別紙1をご参照ください
- APNICで正式にIPv6アドレス割り振り手数料の廃止が決定・実施されれば、それにあわせて指定事業者へのIPv6アドレス割り振り手数料を廃止する



今後のスケジュール

- 10月20日(今日)
 - IPアドレス管理指定事業者連絡会
- 11月24日(木)
 - JPNIC総会での本件(IPv6割り振り手数料90%割引)審議
 - 「IPアドレス割り当て等に関する規則」の変更公示
- 2006年1月25日(水)
 - 「IPアドレス割り当て等に関する規則」変更実施
 - 2005年8月11日以降、2006年1月25日以前に受けた割り振り申請のうち、減額となるものについては請求を留保し、2006年2月以降割引を適用した請求を行います



ip6.intによる逆引きの廃止



現在の状況

- APNIC/JPNICでは、現状新規のip6.intの登録を受け付けていない
- ip6.intによる逆引きゾーンの委譲を2006年6月1日以降廃止することが先日のAPNIC20ミーティングでコンセンサスを得た
 - 現在MLの議論期間中だが、ほぼこのまま確定と思われる
- 具体的な廃止日は、他RIRと調整した上で決定



影響とお願い

- IPアドレス管理指定事業者への影響
 - APNICによるip6.intの対応終了に伴い、ip6.int方式による逆引きゾーンの設定は行えなくなります
 - 現在ip6.intは直接APNICデータベースにご登録いただいているため、JPNICデータベースでの削除作業は発生しません
- JPNICからのお願い
 - 2006年6月1日を目処に、現在JPNICデータベースにご登録いただいているip6.intの逆引きネームサーバを、ip6.arpa方式へ移行していただきますようお願いいたします



IPv6アドレス割り振り基準 (HD-Ratio)の変更



現在の状況

- IPv6アドレス割り振り基準の一要素であるHD-ratioを現状の0.8から0.94に変更する提案が、先日のAPNIC20ミーティングでコンセンサスを得る
 - 現在MLでの議論中だが、このまま決定となる可能性が強い
 - ただし、他RIRでも同様のコンセンサスを得ることが実装の条件となっている
 - 従って、実装されるとしても2006年春以降と想定される



業務に与える影響

- IPv6アドレスの追加割り振り基準
 - 現状より要件が厳しく(より多くの/48登録が必要)なります
 - 具体的数値については別紙2参照
- IPv6アドレスの初期割り振りサイズ
 - IPv4インフラを基にした申請の場合、現状より割り振りサイズが小さくなります
 - 具体的数値については別紙2参照



今後の予定

- 2005年
 - 10月10～14日 RIPEミーティング
 - 10月26～28日 ARINミーティング
 - 11月16日 APNICでのコメント期間終了
 - 12月12～14日 AfriNICミーティング
- 2006年
 - 5月22～26日 LACNICミーティング
- 次回のAPNICミーティングで決定確認のうえ、反映

実装されることが決定次第、別途速やかに案内いたします。



Q&A

